

平成27年度第2回兵庫県入札監視委員会会議 議事概要

| | | | | |
|-------------------------|--|--------------|------------------------------|----|
| 開催日及び場所 | 平成27年11月27日（金） パレス神戸 中会議室 | | | |
| 委員 | 泉水 文雄（神戸大学大学院法学研究科教授） 小西 庸夫（元兵庫県代表監査委員） 池田 千鶴（神戸大学大学院法学研究科教授） 大搦 幸男（弁護士） 東 恭子（公認会計士） | | | |
| 対象期間 | 平成27年4月1日から平成27年7月31日まで | | | |
| 事務局報告 | 平成27年度第1回会議の議事概要 平成27年度第1回会議の報告事項等に係る質問について | | | |
| 議案1 | 入札及び契約手続の運用状況等の報告 | | | |
| | 対象工事※件数 | 413件 | 対象期間中の指名停止件数 | 5件 |
| | 対象工事の契約金額合計 | 17,625,083千円 | 対象期間中の資格制限件数 | 2件 |
| | 対象工事の平均落札率 | 89.3% | ※対象期間中に契約締結した契約予定金額250万円超の工事 | |
| 議案2 | 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議 | | | |
| | 抽出案件 | 総数 | 5件 | |
| | う ち | 一般競争入札 | 0件 | |
| | | 公募型一般競争入札 | 1件 | |
| | | 制限付き一般競争入札 | 2件 | |
| | | 指名競争入札 | 2件 | |
| | | 随意契約 | 0件 | |
| 委員からの質問・意見 それに対する回答等 | 質問・意見 | | 回 答 | |
| | 別紙のとおり | | 別紙のとおり | |
| 委員会による意見の具申 又は勧告の内容 | 無し | | | |

別紙

| 議題 | 質問・意見 | 回答 |
|----------|--|--|
| 1 | <p>事務局報告 平成27年度第1回委員会の議事概要について</p> <p>平成27年度第1回委員会の報告事項等に係る質問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昇降機の設置工事と長期の保守サービスを一括発注することについてはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昇降機の設置と保守については、予算が別々となっている等により、他の自治体においても、別々に発注しているのが実情である。 なお、保守については、地方自治法等により長期継続契約が可能となっている。 |
| 2 | <p>入札及び契約手続の運用状況等の報告 平成27年4月1日から平成27年7月31日までの入札・契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格制限の理由となった契約解除の理由は何か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1つは、経営不振により事業の継続が困難となったため、もう1つは、破産手続開始の申立てをすることになり工事の続行が不能となったためである。 |
| 3 (1) | <p>抽出した工事に係る入札及び契約手続き等の審議 公募型一般競争入札： 県土整備部契約管理課（営繕課）発注 「洲本総合庁舎建築工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額の案件であるにもかかわらず、落札率が高い理由は何か。 ・総合評価落札方式を適用する必要はなかったのか。 <p>制限付き一般競争入札： (2) 県土整備部契約管理課（設備課）発注 「こどもの館太陽光発電設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の内容が、太陽光パネルや蓄電池盤の設置であることから、基本的に機器費により工事費が決まると考えるが、失格者が5者もいるのは、最低制限価格が少し高かったのではないか。 ・入札参加資格要件において、本件工事に係る設計業務等の受託者等を排除した理由は何か。 <p>(3) 但馬県民局（豊岡土地改良センター）発注 「塩山地区 Hブロック排水路工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高く、辞退者が多くなった理由は、工事現場が急勾配であり、工事が難しかったためか。 <p>指名競争入札： (4) 北播磨県民局（加東土木事務所）発注 「加古川上流浄化センター汚泥脱水機他機械設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機種を決定する際に総合的に判断する「ライフサイクルコスト」とはどういうことか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ敷地内で同時に複数の工事があり、多くの調整が必要のため、当該調整費用として共通費的なものを多く積算したものと思われる。 ・建築工事は土木工事で異なり、一般的に工種が多いながらも技術的にある程度確立されていることから、技術提案の余地が少なく、総合評価落札方式を適用することはまれである。 なお、耐震改修工事の初期に、総合評価落札方式を適用したケースがあった。 ・失格の5者については、企業努力による競争の結果だと思われる。 入札参加者13者のうち、失格者以外にも、予定価格超過が3者、最低制限価格以上予定価格以下が5者おり、各者とも精査した積算により応札していると思われる。 ・公平性の確保のため、工事の詳細を事前に知っている者及び関係者を排除することとしている。 ・工事現場の条件が非常に厳しいこと、地権者から農地を借りて仮設道路を作るため、調整が必要であったことと思われる。 ・「イニシャルコスト」（機械を設置する費用）と「ランニングコスト」（維持管理の費用）とを総合したものをいい、長期的な視点で各機種のトータルのコストを比較検討する。例えば、設置費用が安くても、機械の洗浄に要する水道や機械を稼働させるモーターに要する電気を多く使う機種がある一方、その逆の機種もある。今回選定した機種は、「ライフサイクルコスト」が最も有利となっている。 |

| | |
|---|---|
| <p>・工期が1年8か月と長い理由は何か。</p> <p>・辞退者が多く、また落札率が高くなった理由は何か。</p> <p>(5) 但馬県民局（豊岡土木事務所）発注 「426号 側溝街渠補修・安全施設復旧工事」</p> <p>・B、Cランクの中から、本件の指名業者を選んだ理由は何か。</p> <p>・辞退者や予定価格超過の者がおり、最低価格が予定価格と同じになる（落札率が100%となる）理由は何か。</p> | <p>・機器の製作期間が長く、さらに今回は既存の機器の撤去も合わせて行うためである。</p> <p>・辞退者が多い点については、脱水機の機器の製作期間を今年度末に指定していることから、工場や設計技術者の確保ができなかったことなどが推測される。 また、落札率が高い点については、機器の占める割合が非常に高いため、当該機器を高く積算した者が予定価格を超過したものと思われる。</p> <p>・旧出石町及び旧但東町は、もともと建設業者が少ない中で、機動性が必要であるため、Bランクを中心に実績がある者を選んだ。 なお、当該地域にAランクの者はいない。</p> <p>・辞退の理由については、余り儲からないと考えられたからと思われる。 落札率については、全て単価が公表されており、予定価格が容易に推測できること、管内が相当広く、対応困難と考える者が多かったと推測されることから、たまたま100%になったと思われる。</p> |
| <p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について</p> <p>・今回はなかった旨、事務局から報告した。</p> | |